

児童・生徒数が減少傾向にあることから、令和6年3月に広報冊子を全戸配布し、今後の学校のあり方について、検討を進めてきたところです。

小学校においては令和8年度にも複式学級が生じ、中学校においても規模の縮小が進んでいくなど、学校運営に大きな影響が見込まれることから、今後考えられる学校再編の方向性について、現在検討している案をお示しします。

【洲本市教育委員会からのお知らせ】(令和6年3月)

洲本市立小・中学校の 未来を考えていきます

現在の市立小・中学校



◎児童・生徒数の将来見込と学校施設等の現状について

※学級数：特別支援学級を除く

項目 学校名		児童・生徒数 (R7.5.1時点)												教職員数		校地面積				建物面積						エレベータ		プール				
		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R7		m ²	借地 m ²	運動場 m ² ③	③/①	m ²	校舎		屋内運動場・武道場				設置 有無 (停止階)	設置 方法	水面積 m ²	コース 一 般 用 低学年用
		①	学級数		学級数		学級数		学級数		学級数		学級数	②	①/②	m ²	④						④/①	m ²	体育床		構造・階 (体育床階)					
																									⑤	m ²		⑤/①				
1	洲本第一小学校	82	6	84	6	85	6	83	6	90	6	93	6	94	6	18	5	10,450	—	2,709	33	4,313	3,333	41	916	644	8	R2 (2)	無	—	363	5 25×10.5m 3 25×4m
2	洲本第二小学校	101	6	97	6	108	6	97	6	91	6	86	6	82	6	19	5	18,026	—	8,155	81	5,214	4,519	45	610	450	4	S1	有 (3)	増築	370	6 25×11.6m 低 20×4m
3	洲本第三小学校	409	13	399	13	377	13	363	13	318	12	297	12	279	12	37	11	10,866	—	4,200	10	6,791	5,820	14	840	651	2	S2 (2)	有 (4)	内設	320	6 25×10m 低 14×5m
4	加茂小学校	206	8	216	8	220	8	214	8	214	8	204	7	206	8	25	8	11,792	—	4,370	21	4,519	3,849	19	638	638	3	R1	有 (3)	増築	250	6 25×10m
5	大野小学校	320	12	304	12	294	12	285	12	265	11	254	11	254	11	33	10	21,612	—	12,069	38	4,129	3,225	10	756	588	2	R1	有 (3)	増築	250	6 25×10m
6	由良小学校	66	6	69	6	61	6	58	6	55	5	51	5	44	4	17	4	7,541	—	2,908	44	3,605	2,849	43	756	588	9	R1	有 (3)	内設	260	4 25×8m 低 20×3m
7	中川原小学校	61	6	58	6	51	5	42	5	42	4	32	3	28	3	18	3	8,681	—	3,039	50	3,092	2,132	35	797	676	11	R1	無	—	250	6 25×10m
8	安乎小学校	69	6	65	5	57	5	51	5	46	4	47	5	46	4	18	4	9,281	—	2,721	39	3,161	2,171	31	797	624	9	R1	無	—	205	4 25×8.2m
9	都志小学校	55	6	54	6	56	5	48	5	49	5	43	4	43	5	18	3	17,972	—	16,243	295	3,931	2,681	49	1,070	750	14	R2 (1)	無	—	400	5 25×11m 低 25×5m
10	鮎原小学校	89	6	81	6	76	6	69	6	63	6	57	6	48	5	20	4	12,546	1,724	7,676	86	4,024	3,068	34	750	550	6	R2 (1)	有 (3)	増築	375	6 25×13m 低 10×5m
11	広石小学校	55	6	58	6	57	6	52	6	58	5	64	5	67	5	18	3	8,531	700	5,679	103	3,096	2,512	46	480	345	6	R1	有 (2)	内設	300	5 25×10m 低 10×5m
12	鳥飼小学校	63	6	56	6	46	5	45	5	32	4	31	3	25	3	18	4	11,550	3,241	5,201	83	3,494	2,373	38	890	720	11	R1	有 (3)	増築	400	6 25×11.3m 低 25×4.7m
13	堺小学校	56	6	52	6	48	5	44	5	43	4	33	3	33	3	18	3	6,025	—	4,827	86	2,760	2,002	36	595	425	8	R2 (1)	有 (3)	増築	300	5 25×10m 低 10×5m
14	洲浜中学校	147	6	141	6	125	6	124	6	129	6	130	6	123	6	28	5	17,468	—	9,670	66	5,975	4,423	30	1,348	756	5	R2 (1)	有 (2)	内設	※洲本第一小学校、大野 小学校、中川原小学校 は、ドルフィンプール (市民交流センター) でプール授業を実施	
15	青雲中学校	455	12	447	13	463	14	473	15	490	15	475	15	458	14	43	11	20,668	—	13,893	31	7,733	6,299	14	1,157	885	2	S2 (2)	有 (4)	増築		
16	由良中学校	33	3	33	3	34	3	37	3	30	3	27	3	30	3	21	2	16,994	—	10,546	320	4,266	3,097	94	800	700	21	R2 (2)	無	—		
17	安乎中学校	37	3	37	3	46	3	46	3	38	3	31	3	26	3	20	2	13,174	—	4,796	130	3,205	2,145	58	830	672	18	R2 (1)	無	—		
18	五色中学校	222	7	193	6	171	6	170	6	166	6	164	6	147	6	33	7	55,600	—	23,000	104	8,065	5,675	26	1,691 563	1,162 500	5 2	R2 (1) S2 (1)	有 (3)	増築		
		2,526	124	2,444	123	2,375	120	2,301	121	2,219	113	2,119	109	2,033	107	422 23	6 5	278,777	5,665	141,702	56 90	81,373	62,173	25 37	16,284	12,324	5 8					

◎これまでの教職員数について

※学級数：特別支援学級を含む

項目 学校名		教職員数（各校に在籍するすべての教職員：校長、教頭及び教諭等、養護、事務、用務員等）														
		R3			R4			R5			R6			R7		
		教職員数	学級数	定数	教職員数	学級数	定数	教職員数	学級数	定数	教職員数	学級数	定数	教職員数	学級数	定数
1	洲本第一小学校	15	7	9	15	7	9	16	7	9	17	7	9	18	7	9
2	洲本第二小学校	19	9	11	19	9	11	20	9	11	20	9	11	19	8	10
3	洲本第三小学校	30	15	18	36	14	17	37	16	19	36	16	19	37	16	19
4	加茂小学校	24	11	13	24	11	13	23	9	11	23	12	14	25	10	12
5	大野小学校	28	15	18	31	15	18	32	15	18	33	15	18	33	15	18
6	由良小学校	18	8	10	18	8	10	18	7	9	17	6	8	17	6	8
7	中川原小学校	17	8	10	17	8	10	17	8	10	18	8	10	18	8	10
8	安乎小学校	17	7	9	16	7	9	17	7	9	18	7	9	18	7	9
9	都志小学校	16	6	8	16	6	8	18	7	9	17	7	9	18	7	9
10	鮎原小学校	16	7	9	16	8	10	16	8	10	19	8	10	20	7	9
11	広石小学校	17	8	10	17	8	10	16	7	9	18	7	9	18	7	9
12	鳥飼小学校	15	6	8	14	6	8	15	6	8	16	6	8	18	6	8
13	堺小学校	18	8	10	18	8	10	17	8	10	17	7	9	18	8	10
14	洲浜中学校	27	7	12	27	7	12	26	7	12	27	8	14	28	8	14
15	青雲中学校	43	17	27	46	17	27	42	16	25	43	16	25	43	15	23
16	由良中学校	15	4	8	16	4	8	17	4	8	17	4	8	21	4	8
17	安乎中学校	19	3	8	20	3	8	19	3	8	20	3	8	20	3	8
18	五色中学校	27	9	15	30	8	14	32	9	15	32	9	15	33	9	15
		381	155	213	396	154	212	398	153	210	408	155	213	422	151	208

○学級数別教員定数

※教員：教頭及び教諭等（校長、養護、事務は含まず）

小学校	学級数	定数	中学校	学級数	定数
	1	2		1	2
	2	3		2	5
	3	5		3	8
	4	6		4	8
	5	7		5	9
	6	8		6	10
	7	9		7	12
	8	10		8	14
	9	11		9	15
	10	12		10	17
	11	13		11	18
	12	14		12	19
	13	16		13	20
	14	17		14	22
	15	18		15	23
	16	19		16	25
	17	20		17	27
	18	21		18	28

◎学校施設の維持管理費について（単位：千円）

※「その他」：主な保守点検費・使用料等（教材備品・消耗品費等は含まず）

項目 学校名		R6 施設維持管理費			
		光熱水費	修繕・補修	その他	計
1	洲本第一小学校	3,217	1,686	3,692	8,595
2	洲本第二小学校	5,974	1,250	4,890	12,114
3	洲本第三小学校	11,551	3,990	9,318	24,859
4	加茂小学校	4,450	2,021	6,445	12,916
5	大野小学校	5,600	7,621	9,582	22,803
6	由良小学校	3,055	1,677	4,202	8,934
7	中川原小学校	2,037	466	3,691	6,194
8	安乎小学校	3,186	1,194	3,013	7,393
9	都志小学校	2,938	955	2,646	6,539
10	鮎原小学校	3,822	6,885	4,560	15,267
11	広石小学校	3,114	865	3,553	7,532
12	鳥飼小学校	2,878	2,849	4,212	9,939
13	堺小学校	2,484	22,985	3,359	28,828
14	洲浜中学校	3,875	2,657	5,160	11,692
15	青雲中学校	7,610	3,089	8,622	19,321
16	由良中学校	2,332	1,558	3,221	7,111
17	安乎中学校	1,795	1,832	2,298	5,925
18	五色中学校	5,634	1,865	5,460	12,959
		75,552	65,445	87,924	228,921

◎各学校の今後の方向性（案）について

関係者との協議・調整を重ねながら、今後の学校再編を進めていきます。

期間区分 学校名		当面の方向性 【令和12（2030）年度まで】	中長期的な方向性 【令和13（2031）年度以降】
洲本 地域	①洲本第一小学校	存続	洲本第二小学校への統合を検討
	②洲本第二小学校	存続	存続（校舎の改築を検討）
	③中川原小学校	洲本第二小学校へ統合：令和12（2030）年度頃	
	④安乎小学校	存続	洲本第二小学校へ順次統合
	⑤由良小学校	存続	洲本第二小学校へ順次統合
	⑥加茂小学校	存続	洲本第二小学校への統合を検討
	⑦洲本第三小学校	存続	大野小学校との統合を検討
	⑧大野小学校	存続	洲本第三小学校との統合を検討
	⑨洲浜中学校	存続	存続（又は青雲中学校との統合を検討）
	⑩安乎中学校	洲浜中学校へ統合：令和11（2029）年度頃	
	⑪由良中学校	存続	洲浜中学校へ統合
	⑫青雲中学校	存続	存続（又は洲浜中学校との統合を検討）
五色 地域	⑬都志小学校	存続	鮎原小学校（又は五色中学校地内）へ順次統合
	⑭鮎原小学校	存続	存続（又は五色中学校地内へ順次統合）
	⑮広石小学校	存続	鮎原小学校（又は五色中学校地内）へ順次統合
	⑯鳥飼小学校	広石小学校へ統合：令和10（2028）年度頃	
	⑰堺小学校	広石小学校へ統合：令和10（2028）年度頃	
	⑱五色中学校	存続	存続（校地内に小学校設置を検討）

※上記（案）については、児童・生徒数の将来見込や通学距離等を考慮し、作成しておりますが、今後の児童・生徒数の増減や、各校区での協議状況に応じ、学校再編を行うかどうかも含め、適宜見直しを図ります。

◎学校再編の目的（めざす学校の姿）

これまでの小規模校・少人数学級の経験を継承しつつ、複数学級・適正規模校の多様性との両立を将来的にめざします。

※（ ）内の数字は、R6.3に実施したアンケート集計結果を記載 Q8. 望ましい学校規模を考えていくに当たって、重視されるもの（3つ以内）	適正規模校のメリット	小規模校のメリット
	多くの子どもや教職員とともに学ぶことで、多様な考え方に触れることができる（16%）	子ども同士の人間関係が深まりやすく、教職員とも親しみやすい（16%）
	クラス替えにより人間関係が広がりやすい（15%）	子ども一人ひとりに対してきめ細やかな対応ができる（14%）
	体育や音楽など集団的な学習や行事を行いやすい（9%）	縦割り活動など学年を超えた経験が得られやすい（8%）
	専門性の高い教科学習を行いやすい（4%）	子ども一人ひとりに活躍の場が多い（6%）
	関係する保護者や地域住民が多く、学校関連行事で担う負担が小さい（4%）	保護者や地域住民との距離が近く、学校関連行事に参加しやすい（5%）
	施設・設備等を充実させやすい（選択肢なし）	子どもひとり当たりの教室や運動場の面積に余裕がある（4%）

◎学校跡地について

関係者との協議・調整を行い、意見・意向をふまえながら、活用の方向性について検討していきます。

○活用例)

- ・社会教育施設等への転用
屋内運動場、中学校部活動場所（地域移行後）、公民館（避難所）、地域団体活動拠点 等
- ・子どもの居場所づくり
放課後児童クラブ、放課後子ども教室、子育てセンター 等
- ・公園としての整備
憩いの場、避難場所、防災拠点 等
- ・地域活性化施設としての整備
- ・その他地域生活に資する施設としての整備
- ・不要となった場合の借地の原状回復・返却
鮎原小学校、広石小学校、鳥飼小学校
- ・譲渡・売却